

電気伝導度構造・地殻活動電磁気学研究の現状についての検討会（第1回）の概要

2012年3月5日（月）13:00-18:45 昼の部

於：東大地震研2号館第二会議室

発起人：上嶋誠（地震研）・橋本武志（北大）・山崎健一（京大防災）

出席者：相澤広記（東大）・市來雅啓（東北大）・市原 寛（JAMSTEC）・上嶋 誠（東大）・歌田久司（東大）・大久保寛（首都大）・大志万直人（京大）・小河 勉（東大）・小川康雄（東工大）・後藤忠徳（京大）・小山崇夫（東大）・坂中伸也（秋田大）・笹井洋一（東海大）・佐波瑞恵（GERD）・島 伸和（神戸大）・竹内昭洋（東海大）・多田訓子（JAMSTEC）・藤 浩明（京大）・西田泰典（北大）・馬場聖至（東大）・橋本武志（北大）・長谷英彰（東大）・畑 真紀（京大）・福井敬一（地磁気観）・藤田清士（阪大）・水野浩雄・村上英記（高知大）・山口 覚（大阪市大）・山崎 明（地磁気観）・山崎健一（京大）・山谷祐介（東大）・吉村令慧（京大）

発表予定だったが事情により欠席：松島政貴（東工大）・笠谷貴史（JAMSTEC）

メールにて意見表明：塩崎一郎（鳥取大）・白井宏樹（地理院）

夜の部のみ参加：西谷忠師（秋田大）

趣旨説明（山崎健一）

- ・ H23年 CA 研究会で、予知協議会企画部の森田さんが呼びかけ、予知計画の次期建議のために電磁気研究グループからの積極的な提案を求められた。
- ・ SGEPS の運営委員会では、「地球電磁気学の将来計画」の更新に向けて動き出している
- ・ 本音：着地点も決めていない
- ・ 有害でない会合に→みんなで議論できる場にしたい
- ・ 便宜上サイエンスとそれ以外に分けた
- ・ 今後の方針についても考えたい
- ・ 夜の部は、夢・希望・不満・怒り等を語らう場としたい
- ・ ルール

発表・発言内容に責任を負わせない（撤回自由）

アイデアの利用は自由（聞き手の良識）

議事録を作成し、参加者内で確認後 CA-ML に流す

原則として発表者・発言者の名前は記載

ただし、名前を伏せることを希望する箇所は匿名にする

第1時間目

山口 覚（大阪市大）：断層の地下構造を地表から起震断層深度まで探る

吉村令慧（京大防災）：地殻比抵抗構造研究の(個人的)方向性
市原 寛（JAMSTEC）：津波に関わる電磁気シグナルの観測

第2時間目

相澤広記（地震研）：これまでとこれからの陸域 MT 観測
橋本武志（北大）：火山の地磁気観測
小川康雄（東工大）：MT 観測の最近の進展
大志万直人（京大防災）：比抵抗構造探査で何を目指すか？
村上英記（高知大）：南海トラフで発生する地震に向けて
大久保寛（首都大東京）：地球磁場連続観測と地震・津波警報への応用
（休憩）

第3時間目

笹井 洋一（東海大）：地震の短期・直前予知を目指す
西田 泰典（元 北大）：東海のピエゾ磁気 駿河湾沖に連続磁場観測点を
山崎 健一（京大防災研）：今だからこそ再び先行現象
畑 真紀（京大）：3D インバージョン解析の現状と今後に向けて
（九州ネットワーク MT の解析より）

坂中 伸也（秋田大・工）
上嶋誠（東大・地震研）：比抵抗今後の展望
（休憩）

第4時間目

島 伸和（神戸大）：どこでも磁力計構想，CA グループに感じること
藤浩明（京大）：26 期運営委員の考え方（SGEPSS 将来構想）
多田訓子（JAMSTEC）：若手懇親会の報告
後藤（京大工）：CA 研究会ブログサイト
（メール紹介）

塩崎一郎（鳥大），鳥大ローカルの状況
白井宏樹（地理院），国土地理院の現状について

総合討論（司会：山崎）

閉会

夜の部の会場へ移動